

5. 成果の論文発表・口頭発表等

1 断層帯の三次元的形状・断層帯周辺の地殻構造解明のための調査観測

a. 制御震源地震探査による地殻構造の解明

(a) 学会等における口頭・ポスター発表

平成 21 年度

1) 著者 : Sato, H., S. Abe, N. Kato, and T. Iwasaki.

題名 : Recent progress on the imaging of seismogenic source faults in Japan (口頭)

発表先 : HOKUDAN International Symposium on Active Faulting, In Commemoration of the 15th Anniversary of the 1995 Great Hanshin-Awaji Earthquake (Hokudan Earthquake Memorial Park in Awaji City, Awaji Island, Japan)

発表年月 : 2010 年 1 月 19 日

2) 著者 : Sato, H., Susumu. Abe, Takaya. Iwasaki, Naoko. Kato, Eiji Kurashimo and N. Hirata.

題名 : Contribution of recent seismic profiling for constructing source fault models in Japanese islands (口頭)

発表先 : The 3rd SCEC-ERI Joint Workshop on “Earthquake Hazards in Urban Area” and “Toward Constructing Forecast Systems of Earthquakes” (ERI, Tokyo, Japan)

発表年月 : 2010 年 3 月 16 日

3) 著者 : 佐藤比呂志・阿部進・蔵下英司・岩崎貴哉・石川正弘・新井隆太・加藤直子・平田直

題名 : 伊豆-小笠原弧の沈み込みと関東のテクトニクス

発表先 : 研究集会「首都圏における地震テクトニクス」

発表年月 : 2010 年 3 月 18 日

学会誌・雑誌等における論文掲載 なし

マスコミ等における報道・掲載

1) 報道・掲載された成果 (記事タイトル) : “切迫度” ふまえ構造分析 神縄・国府津
— 松田断層帯 本格調査へ

対応者氏名: 佐藤比呂志

報道・掲載機関 (新聞名・TV名): 産経新聞

発表時期 : 2009 年 5 月 25

国際・国内の別 : 国内

- 2) 報道・掲載された成果 (記事タイトル) : 神縄・国府津－松田断層帯 本格調査へ

対応者氏名: 佐藤比呂志

報道・掲載機関 (新聞名・TV名) : MNS 産経ニュース

発表時期 : 2009 年 5 月 25

国際・国内の別 : 国内

- 3) 報道・掲載された成果 (記事タイトル) : 神縄・国府津－松田断層帯重点調査観測へ

対応者氏名: 岩崎貴哉

報道・掲載機関 (新聞名・TV名) : 東京大学地震研究所ニュースレター Plus

発表時期 : 2009 年 10 月

国際・国内の別 : 国内

平成 22 年度

- 1) 著者 : Sato, H., T. Iwasaki, S. Abe, H. Saito, T. Kawanaka, and N. Hirata.

題名 : Deep seismic reflection profiling of the subduction megathrust across the Sagimi trough and Tokyo bay, Japan

発表先 : EGU General Assembly 2010 (Geophysical Research abstract Vol. 12), Vienna (Austria), May 2-7, EGU2010-5708, 2010.

発表年月 : 2010 年 5 月 2 日～5 月 7 日

- 2) 著者 : Sato, H., S. Abe, N. Kato, T. Ishiyama and T. Iwasaki.

題名 : Result of recent seismic profiling for constructing source fault models in central Japan

発表先 : G-COE Symposium 2010 Dynamic Earth and Heterogeneous structure, Sendai City War Reconstruction Memorial Hall, Sendai Japan, July 13-15, Tohoku University Global COE Program, 22-23, 2010.

発表年月 : 2010 年 7 月 13 日～7 月 15 日

- 3) 著者 : Sato, H., S. Abe, T. Iwasaki, E. Kurashimo, D. Okaya, S. Sakai, T. Kawanaka, and N. Hirata.

題名 : Characterization of the upper surface of the Philippine Sea plate beneath Kanto, central Japan: insight from seismic reflection profiling

発表先 : 2010 Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco (USA), Dec. 13-17, T43E-07, 2010.

発表年月 : 2010 年 12 月 13 日～12 月 17 日

- 4) 著者 : 佐藤比呂志・笠原敬司・平田 直・岩崎貴哉・加藤直子・伊藤谷生・浅尾一己・木村尚紀・中山俊雄・阿部 進・須田茂幸・川崎慎治・斎藤秀雄・大西正純・川中 卓・井川 猛・太田陽一
題名 : 首都圏における地下構造探査:堆積平野からプレートまで
発表先 : 2010 日本地質学会関東支部-日本第四紀学会ジョイントシンポジウム「関東盆地の地下地質構造と形成史」, 日本大学文理学部, 11月20-21日, 日本地質学会関東支部, 12-16, 2010.
発表年月 : 2010年11月20日~11月21日
- 5) 著者 : 石山達也・佐藤比呂志
題名 : 伊豆衝突帯-関東平野の第四紀テクトニクス
発表先 : 2010 日本地質学会関東支部-日本第四紀学会ジョイントシンポジウム「関東盆地の地下地質構造と形成史」, 日本大学文理学部, 11月20-21日, 日本地質学会関東支部, 33-35, 2010.
発表年月 : 2010年11月20日~11月21日
- 6) 著者 : 岩崎貴哉・佐藤比呂志・石山達也・阿部 進
題名 : 神縄・国府津-松田断層帯の構造とその活動様式,
発表先 : 日本地震学会2010年度秋季大会, 広島国際会議場, 10月27日~29日, 日本地震学会, 19-19, 2010.
発表年月 : 2010年10月27日~10月29日
- 7) 著者 : Sato, H., T. Iwasaki, S. Abe, H. Saito, T. Kawanaka, N. Hirata.
題名 : Deep seismic reflection profiling of the subduction megathrust system across the Sagami trough and Tokyo bay, central Japan
発表先 : 14th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their margins, Cairns (Australia), August 28 - September 3, Geoscience Australia, 111-111, 2010.
発表年月 : 2010年8月28日~9月3日
- 8) 著者 : 阿部 進・佐藤比呂志・岩崎貴哉・平田 直・伊藤谷生・斎藤秀雄・白石 和也・加藤直子
題名 : 海陸境界域における反射法地震探査技術の進展と深部地殻構造イメージングの高精度化
発表先 : 日本地球惑星科学連合2010大会, 幕張メッセ, 5月23日~28日, 日本地球惑星科学連合, SCG088-03, 2010.
発表年月 : 2010年5月23日~5月28日
- 9) 著者 : Arai, R. , T. Iwasaki, H. Sato, N. Hirata.

題名 : Multiple collision and subduction structure of the Izu collision zone:
arc-arc collision in central Japan

発表先 : The ERI International Symposium on “Subduction systems: structure,
seismicity and geodynamics”, Tokyo (Japan), November 10-11,
Eearthquake Research Institute, The university of Tokyo, 47-48, 2010.

発表年月 : 2010年11月10日～11月11日

10) 著者 : Sato, H., S. Abe, E. Kurashimo, T. Iwasaki, R. Arai, N. Kato, N. Hirata.

題名 : Geometry of the Philippine Sea slab beneath the Izu Collision Zone, central
Japan

発表先 : 14th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the
Continents and their margins, Cairns (Australia), August 28 -
September 3, Geoscience Australia, 109-109, 2010.

発表年月 : 2010年8月28日～9月3日

学会誌・雑誌等における論文掲載

1) 著者 : 佐藤比呂志・岩崎貴哉・石山達也

掲載論文: プレート境界から分岐した活断層の長期評価: 相模トラフ横断地殻構造探
査

雑誌名: 科学, 80, 8, 825-831

発表時期: 2010年

マスコミ等における報道・掲載 なし

平成23年度

1) 著者: Sato, H., S. Abe, T. Iwasaki, E. Kurashimo, D. Okaya, T. Kawanaka, and
N. Hirata.

題名: Characterization of the upper surface of the Philippine Sea plate beneath
Kanto, central Japan, revealed by seismic reflection profiling

発表先: EGU General Assembly 2011 (Geophysical Research abstract Vol. 13), Viena
(Austria), April 5, EGU2011-5275, 2011.

発表年月: 2011年4月5日

2) 著者: 佐藤比呂志・笠原敬司・平田直・岩崎貴哉・加藤直子・蔵下英司・石山達也・
中山俊雄・伊藤谷生・浅尾一己・木村尚紀・阿部進・川崎慎治・斉藤秀雄・溝
畑茂治・川中卓・太田陽一・須田茂幸・大西正純・井川猛

題名: 関東地域の地下構造調査: 堆積盆地からプレートまで

発表先: 日本地質学会第118年学術大会、茨城大学、S3-0-2, 2011.

発表年月: 2011年9月9日

- 3) 著者: 新井隆太・岩崎貴哉・佐藤比呂志・阿部 進・平田 直
題名: 制御震源探査に基づく伊豆小笠原弧多重衝突・沈み込み構造
発表先: 日本地質学会第 118 年学術大会、T17-0-6, 2011.
発表年月: 2011 年 9 月 10 日
- 4) 著者: Sato, H., S. Abe, T. Iwasaki, E. Kurashimo, D. Okaya, S. Sakai, T. Kawanaka,
and N. Hirata.
題名: Geometry of the upper surface of Philippine Sea plate beneath Kanto, central
Japan, revealed by seismic reflection profiling
発表先: IUGG2011 General Assembly Melbourne (Australia) #4609
発表年月: 2011 年 7 月 1 日
- 5) 著者: Arai, R., T. Iwasaki, H. Sato, S. Abe, N. Hirata.
題名: Multiple Collision and Subduction Structure of the Izu-Bonin Arc: Tectonics
of the Arc-arc Collision in Central Japan
発表先: AGU Fall meeting 2011, San Francisco (USA), T51A-2309
発表年月: 2011 年 12 月 9 日
- 6) 著者: Arai, R., T. Iwasaki, H. Sato, S. Abe, and N. Hirata.
題名: Subduction Structure of the Izu-Bonin Arc, Central Japan, and its
Implications for the Seismic Activity
発表先: IUGG2011 General Assembly Melbourne (Australia), # 3602
発表年月: 2011 年 7 月 1 日
- 7) 著者: Arai, R., T. Iwasaki, H. Sato, S. Abe, and N. Hirata.
題名: Multiple Collision and Subduction Structure of the Izu-Bonin Arc, Central
Japan, Revealed by Active Source Seismic Data
発表先: IUGG2011 General Assembly Melbourne (Australia), #3601
発表年月: 2011 年 7 月 2 日
- 8) 著者: 佐藤比呂志・岩崎貴哉・石山達也・阿部 進・溝畑茂治・野田克也・伊藤谷生
題名: 箱根- 富士吉田測線地殻構造探査速報: 富士火山噴出物下のプレート境界断層の
イメージング
発表先: 日本地震学会 2011 年秋季大会、静岡、C12-05
発表年月: 2011 年 10 月 12 日
- 9) 著者: 新井隆太・岩崎貴哉・佐藤比呂志・阿部進・平田直
題名: 伊豆小笠原弧の沈み込み構造と地震活動への示唆

発表先：日本地球惑星科学連合 2011 大会、幕張メッセ、SSS031-P06

発表年月：2011 年 5 月 23 日

(b) マスコミ等における報道・掲載等

平成 23 年度

- 1) 報道・掲載された成果（記事タイトル）：活断層の存在解明へ

対応者氏名：佐藤比呂志

報道・掲載機関（新聞名・TV名）：静岡新聞

発表年月：2011 年 7 月 21 日（夕刊）

- 2) 報道・掲載された成果（記事タイトル）：小山周辺 地殻に迫る

対応者氏名：佐藤比呂志

報道・掲載機関（新聞名・TV名）：静岡新聞

発表年月：2011 年 7 月 22 日（夕刊）

- 3) 報道・掲載された成果（記事タイトル）：プレート境界か地下調査で初観測「地震周期つかむ資料に」

対応者氏名：佐藤比呂志

報道・掲載機関（新聞名・TV名）：静岡新聞

発表年月：2011 年 7 月 23 日

c. 神縄・国府津－松田断層帯北縁部（箱根火山－丹沢山地）の地震活動と構造

(a) 学会等における口頭・ポスター発表

平成 22 年度

- 1) 著者：行竹洋平・伊東博・本多亮・原田昌武・棚田俊收・吉田明夫

題名：箱根カルデラ内および周辺域の 3 次元速度構造－稠密地震観測データを用いて－（ポスター）

発表先：日本地球惑星科学連合 2010 年大会

発表年月：2010 年 5 月 27 日

- 2) 著者：棚田俊收・行竹洋平・本多亮・原田昌武・伊東博・永井 悟・杉原英和・吉田明夫

題名：伊豆衝突帯である神奈川県西部地域で発生した微小地震および小地震のメカニズム解（ポスター）

発表先：日本地球惑星科学連合 2010 年大会

発表年月：2010 年 5 月 27 日

- 3) 著者：棚田俊收・馬場久紀・行竹洋平・本多亮・明田川保・吉田明夫

題名 : 採石発破を利用した神縄・国府津－松田断層帯北縁部 (箱根火山－丹沢山地)
付近の震源決定精度と表層速度 (ポスター)

発表先 : 日本地震学会秋季大会

発表年月 : 2010 年 10 月 28 日

4) 著者 : 行竹洋平・武田哲也・吉田明夫

題名 : 伊豆衝突帯北縁部における詳細な震源及びメカニズム解分布 (口頭)

発表先 : 日本地震学会秋季大会

発表年月 : 2010 年 10 月 27 日

5) 著者 : Yukutake, Y., T. Takeda, R. Honda, and A. Yoshida.

題名 : Detailed spatial distribution of hypocenters and focal mechanisms in the
collision zone of the Izu -Bonin arc (ポスター)

発表先 : 2010 AGU Fall Meeting

発表年月 : 2010 年 12 月 14 日

6) 著者 : 吉田明夫

題名 : 箱根の温泉と群発地震と伊豆衝突テクトニクス

発表先 : 温泉地学研究所報告、第 42 巻

発表年月 : 2010 年 12 月

7) 著者 : 行竹洋平・武田哲也・吉田明夫

題名 : 伊豆衝突帯北縁部における震源及びメカニズム解の特徴

発表先 : 温泉地学研究所報告、第 42 巻

発表年月 : 2010 年 12 月

8) 著者 : 原田昌武・細野耕司・小林昭夫・行竹洋平・吉田明夫

題名 : 富士山及び箱根火山の膨張歪と低周波地震活動

発表先 : 火山、第 55 巻第 4 号

発表年月 : 2010 年 7 月

9) 著者 : Yukutake, Y., T. Tanada, R. Honda, M. Harada, H. Ito, and A. Yoshida.

題名 : Fine fracture structures in the geothermal region of Hakone volcano,
revealed by well-resolved earthquake hypocenters and focal mechanisms

発表先 : Tectonophysics、Volume 489

発表年月 : 2010 年 6 月

平成 23 年度

- 1) 著者 : Yukutake, Y., H. Ito., R. Honda, M. Harada, T. Tanada, and A. Yoshida.
題名 : Fluid-induced swam earthquake sequence revealed by precisely determined
ypocenters and focal mechanisms in the 2009 activity at Hakone
volcano, Japan(ポスター)
発表先 : J. Geophys. Res., doi : 1029/2010JB008036.
発表年月 : 2011 年 4 月
- 2) 著者 : 行竹洋平
題名 : 神縄・国府津－松田断層帯周辺域における震源分布とメカニズム解の特徴
－稠密地震観測データを用いて－
発表先 : 神奈川県温泉地学研究所報告書、43
発表年月 : 印刷中
- 3) 著者 : Yukutake, Y., T. Tanaka, R. Honda, and A. Yoshida.
題名 : Seismotectonics in the Tazawa Mountains area in the Izu－Honshu collection
zone of central Japan, as revealed by precisely determined hypocenters and
focal mechanisms
発表先 : Earth Planets Space
発表年月 : 印刷中

(b) マスコミ等における報道・掲載等 なし

2 断層帯の三次元的形状・断層帯周辺の地殻構造解明のための調査観測

c. 地質学的手法に基づく国府津－松田断層帯北縁部の活断層に関する調査研究

(a) 学会等における口頭・ポスター発表

平成 22 年度

- 1) 著者 : 小田原啓・林広樹
題名 : 神奈川県山北町丸山における活断層調査ボーリング (ポスター)
発表先 : 日本地質学会第 117 年学術大会 (富山大学)
発表年月 : 平成 22 年 9 月
- 2) 著者 : Odawara, K., T. Aketagawa, and A. Yoshida.
題名 : Kozu-Matsuda fault system in northern Izu collision zone, western part of
Kanagawa Prefecture, central Japan. (ポスター)
発表先 : 2010 AGU Fall Meeting (San Francisco, USA)
発表年月 : 2010 年 12 月

平成 23 年度

1) 著者 : 小田原啓・林広樹・齋藤勝・古澤明
題名 : 神縄・国府津－松田断層帯北西部における活断層調査ボーリング (ポスター)
発表先 : 日本地質学会第 118 年学術大会 (茨城大学)
発表年月 : 2011 年 9 月

2) 著者 : 小田原啓・林広樹
題名 : 伊豆衝突帯、足柄地域の地質構造 (口頭)
発表先 : 日本地質学会第 118 年学術大会 (茨城大学)
発表年月 : 2011 年 9 月

(b)マスコミ等における報道・掲載等 なし